

恩納村中長期財政計画書(概要版)

目的・位置付け

今後の状況を見据え、行政活動の最適化、持続的な財政運営を計画・準備することを目的としています。

「恩納村第5次総合計画」を財政的に支援・補完する位置付けとしています。

財政目標

財政目標	
目標年度:平成28年度～平成32年度	
目標1	地方債残高35億円未満維持を目指す
目標2	基金残高50億円以上の確保を目指す
目標3	歳出抑制として経常収支比率が82.7%以内維持を目指す

取組事項

- 新たな予算査定機構の構築
- 施設マネジメント(公共施設等総合管理計画)との連動
- 毎年度の目標数値に対する結果数値の検証
- 各種具体的な取組内容

財政見通し試算方法

財政見通し試算は以下①～③の内容で行っています。

- ①平成25～34年度を計画年度(試算自体は30年間)とし、一般会計を対象とします。
- ②過去の決算数値等から傾向を把握し試算を行っています。また、公共施設等の更新費用を加算した試算も行っています。
- ③全庁・全職員への将来動向の確認をしています。

財政見通し

